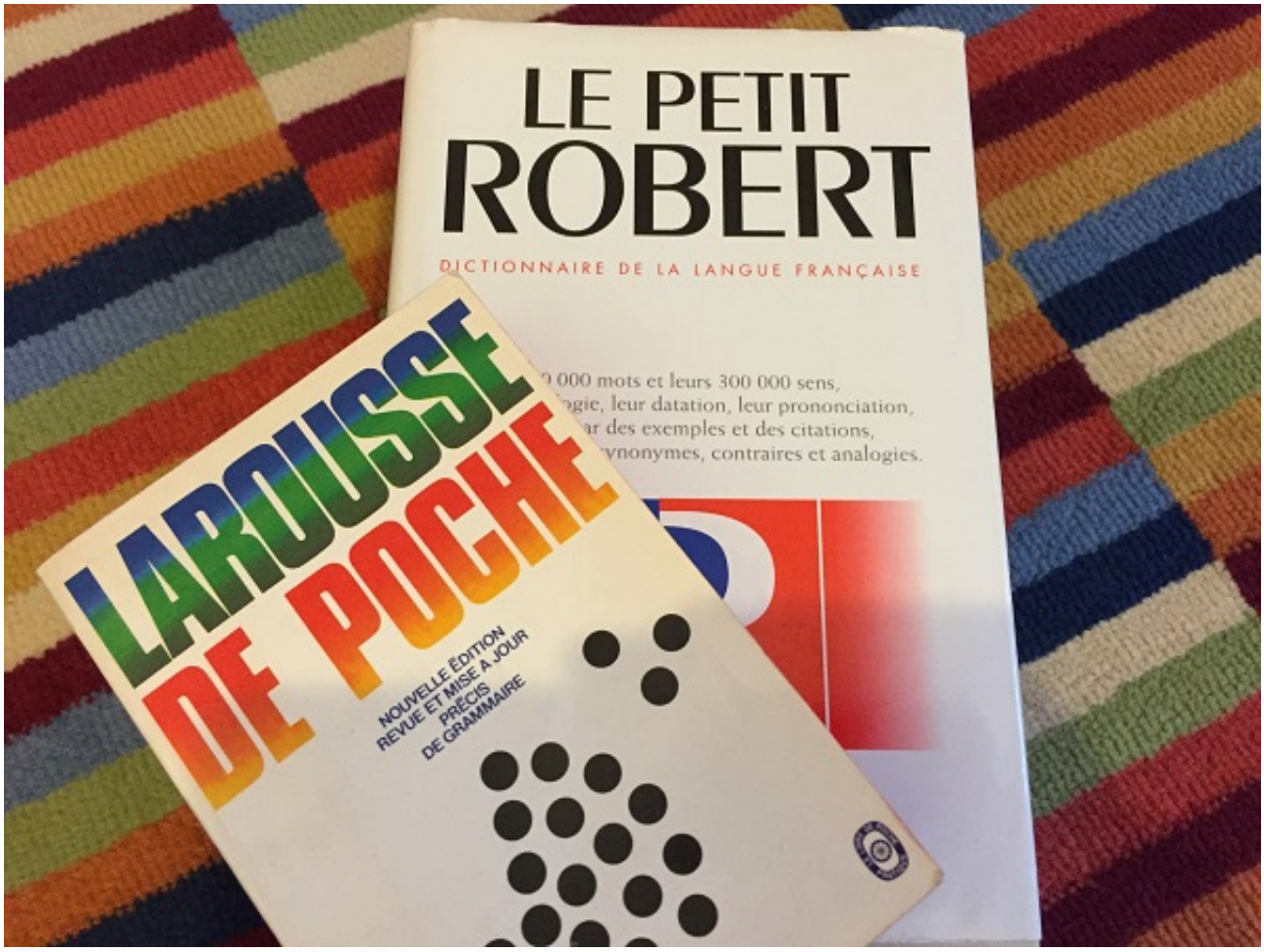
2017年版辞書に加わった新語はいくつ？

フランスの出版界『5月の恒例』といえば、新年度版の辞書発行！今日は日本ではあまり馴染みのない、フランスの辞書のお話です。

フランスの2大辞書

今年も5月19日にLe Petit Robert （ル・プティ・ロベール）、5月26日にLe Petit Larousse
（ル・プティ・ラルース）の2017年版が刊行されました。「プティ」と言っても片手で持つにはちょっと重いこれらの辞書。どちらも評価は高く、大抵のフランスの家庭にはどちらか一冊あるのが常です。



今年はどちらも約150語ほどの新語を加えたことが話題となっています。例えば[Le mondeの記事](#)、[Le Parisienの記事](#)、[Le figaroの記事](#)などなど。

ざっと見ると

・「へー、これまだ辞書に載ってなかったんだ」と思うほどよく聞く言葉
・聞いたことはないけれどなんとなく意味の分かる言葉
・聞いたこともなければ、意味も想像がつかない言葉

・・・と様々な面々。例を挙げてみましょう。

よく聞く言葉

---

youtubeur, tweeter, selfie, végan, émoji, yuzu, phô, wrap, pad thaï, s'enjailler など。

絵文字とか柚子
（ユズ
）はもともと
日本語ですから、聞いたこ
とがあって当然です。柚子に関しては以前「フランス語になった日本語」
に書いたことがありますが、とうとう辞書入りを果たしたわけです。phô
はヴェトナム料理のフォーですし、pad thaï はタイの麺炒め。wrap
は小麦か
トウモロコシの粉
で作ったクレープで具を巻いた料理
です。ユーチューバー（youtubeur）やツイートするという意味の動詞 tweeter
、セルフィ（selfie）には説明が要らないでしょう。végan
もフランス語だとちょっと発音が違いますが、「ヴィーガン」と言えば日本でも通じる人が多いのではないでしょうか。また s'enjailler
という動詞は最近耳にするようになった印象でしたが、若い世代ではもっと前から広がっていたようです。意味はs'amuser （楽しむ）のさらに程度が強い感じです。

聞いたことはないけれど意味はなんとなく分かる

---

geeker, twittosphère, covoiturer, ubériser, などがあります。
geeker は英語のgeek
（PCやヴィデオゲームオタクというニュアンス）から来ていて、geekのようにゲームやPC
などの画面の前で時間を費やすという意味の動詞です。**twittosphère** はそのままツイッターの世界

covoiturer は「[Co-]の増えてきた最近のフランス社会」で話題にしたcovoiturage
の動詞。車に乗り合うとでも訳せばいいでしょうか。**ubériser** は最近タクシー業界の反発を大きく受けた、自動車配車システムUber（フランス語ではユベールと読みます）から来ています。それが動詞になると「新しい発想と技術で、既存の経済システムに打撃を与えたり変化を起こしたりする」という意味で使われるそうです。

聞いたこともなければ意味の想像もつかない言葉

これも結構あります。ところが、ここで口を出してきたのが12歳の息子。なんとspoiler, tuto, troller あたりは「学校で毎日のように聞くよ」というではないですか。え、そうなの？...ということで、以下は息子の指南。
spoiler は同じスペルで動詞と名詞があり、動詞はそのまま「スポイレ」と発音しますが、名詞と

して使う時はまるでspoileur と書いたような発音「スポイラー」を使うんだとか。意味は英語と同じで、ダメにするという意味。特に映画や本の結末を、まだ読んでない人に暴露してしまうことをさします。名詞のspoiler（スポイラー）は、このspoiler（スポイレ）をする人のこと。**tuto** は英語のtutorialのこと。特にゲームの説明を指すのだそうです。**troller** は要するにフォーラム荒しをすることを指すようです。息子よ、勉強になりました。

ところでただひとつ、息子が目を剥いた単語は**tomate coeur-de-boeuf**（直訳では「牛の心臓トマト」）。これは最近見るようになったトマトの種類のひとつで、非常に大きく表面がいささか波打った形状をしているものです。記事のために写真をと思ったのですが、なぜかこういう時に限って店先に並んでおらず撮れませんでした。

まとめ

tomate coeur-de-boeuf は一家の食卓を預かる私にとっては、それこそ「日常語」のひとつ。ようやく親の面目躍如、となった次第です。ふぅ。

執筆 冠ゆき